

「ライオン岩から学んだことを」

宮城県 石巻市立渡波小学校 3年 管野 双葉

わたしの家の近くには、ライオン岩とよばれている山があります。岩の形が、ライオンの顔と体に見えて、まわりに生えている木がたてがみに見えるので、ライオン岩とよばれていたそうです。

わたしが1年生のころ、ライオン岩でがけくずれがありました。パトカーやきゅうきゅう車が来て、近くの家の人たちはひなん所にひなんしました。1年生のころのわたしは、がけくずれがどんなものかよく分かりませんでした。3年生になった今でも、買い物に行くときにライオン岩の前を通ると、がけくずれがまたおこることが心配でライオン岩を見上げています。わたしは、どうしてがけくずれがおきるのかを、お父さんといっしょに調べました。

調べてみると、がけくずれとは、大雨、長雨で地面に水がしみこむことや、地しんのゆれによって、山のしゃ面がとつぜんくずれ落ちることだと分かりました。がけくずれがおこる前には、小石がぱらぱらと落ちてきたり、しゃ面にわれ目ができて水がわき出てきたりするので、注意して見ることでがけくずれのサインに気づくことができるそうです。ほかにも、土石りゅうや地すべりなど、がけくずれのような災害をまとめて土しゃ災害ということも分かりました。

今年の夏は、とても長い間雨の日がつづいたので、ライオン岩でも土しゃ災害がおこるかもしれません。近くに行ったときは、小石が落ちていたり、しゃ面がわかれていたりしていないか注意して見ようと思いました。

今までは、がけくずれがおこるのを心配するだけでしたが、これからは、自分で安全をたしかめることができそうです。調べて分かったことを、家族や友だちに伝えて、きけんな場所には近づかないようにすることで、みんなの安全につながればいいなと思いました。